

一般社団法人日本原子力学会 標準委員会 原子燃料サイクル専門部会
第 64 回 リサイクル燃料貯蔵分科会 (F4SC) 議事録

1. 日時 2023 年 10 月 16 日(月) 13:30～17:00
2. 場所 OCL 東京会議室及び Webex によるオンライン会議
3. 出席者 (順不同、敬称略)
(出席委員)木倉(主査)、白井(幹事)、阿部、市橋、清水、高橋(淳)、樋口、藤沢、松本(務)、山根、渡邊、亘(12 名)
(代理出席委員)ー(0 名)
(欠席委員)浅見(副主査)、島(2 名)
(出席常時参加者)石川、大岩、菊池、影山、広瀬(5 名)
(欠席常時参加者)高橋(秀)、木下、堂守、村松、柿崎(5 名)
(オブザーバー)海老原、松岡(2 名)
4. 配布資料
F4SC6 4-1 第 63 回リサイクル燃料貯蔵分科会議事録(案)
F4SC6 4-3 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 3 の作業状況について
F4SC6 4-4-1 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 1 の作業状況について
F4SC6 4-4-2 原子力学会標準「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX」改定提案のご意見(提案 B)
F4SC6 4-4-3 ご意見等を踏まえた新旧比較表(提案 B)
F4SC6 4-5-1 リサイクル燃料貯蔵分科会作業会 4 の作業状況について
F4SC6 4-5-2 原子力学会標準「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX」審議対応について(提案 A)
F4SC6 4-5-3 原子力学会標準「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX」改定提案のご意見(提案 A)
F4SC6 4-5-4 ご意見等を踏まえた新旧比較表(提案 A)
F4SC6 4-6-1 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX」改定 本報告(部会、標準委員会向け)
F4SC6 4-6-2 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX」改定提案 新旧比較表
F4SC6 4-6-3 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準：20XX」改定提案 完本版
F4SC6 4-7-1 2024 年度版標準策定 5 か年計画等の作成について(作成依頼)

F4SC64-7-2 (リサイクル燃料貯蔵分科会提案) 2024 年度版標準策定 5 か年計画

参考資料

F4SC64-参考 1 標準委員会等運営ガイドライン

F4SC64-参考 2 標準策定 5 か年計画の更新ガイドライン 2023.9

5. 議事

主査より、開始時の出席者の確認が行われ、決議に必要な委員総数の2/3以上の委員数を満足している旨の報告がなされた。

(1) 前回議事録確認

- ・ 前回議事録(案)として F4SC64-1 の確認が行われた。

(2) 標準委員会/原子燃料サイクル専門部会の活動状況

- ・ 幹事より分科会倫理教育結果を原燃サイクル専門部会幹事に提出した旨の報告があった。
- ・ 幹事より来年度の標準策定 5 か年計画の提出依頼が原燃サイクル専門部会幹事からあった旨報告があった。(詳細は議事(7)で実施)

(3) 作業会3の作業状況について

- ・ 藤沢委員(作業会3主査)より、F4SC64-3 に基づき、作業会3の作業状況について報告があった。
- ・ 今後については、以下で行うことが確認された。
 - 今年度末を目途に現在実施している課題の洗い出しを一旦完了して、次年度早い段階で、分科会で現状を説明する。
 - 今年度中に「課題の洗い出し結果と改正の方向性」について、分科会で説明する。

(4) 作業会1の作業状況について

- ・ 松本委員(作業会1主査)より、F4SC64-4 シリーズに基づき、作業会1の作業状況について報告があった。
- ・ 審議の結果、以下の対応を行うことになった。
 - 新旧比較表(67/276)の表 B.6 の出展に示される一部修正とは、具体的にどこを修正したかを清水委員へ回答する。
 - F4SC64-4-2 作業会1の回答に示される「次回以降改定の検討項目」については、今回の改定終了時に分科会資料としてとりまとめ、作業会2へ引き渡す。

(5) 作業会4の作業状況について

- ・ 清水委員（作業会4幹事）より、F4SC64-5シリーズに基づき、作業会4の作業状況について説明があった。
- ・ 審議の結果、F4SC64-5-3 の No1 の意見については、61体入りのキャスクの条件で、9×9 燃料の水素吸収量を算出していることから、付属書Ⅰの 1.1 項の文章は現行標準から変更しないことになった。

(6) 標準改定案について

- ・ 清水委員（作業会4幹事）より、F4SC64-6 シリーズに基づき、以下の資料を用いて部会へ標準改定の本報告する説明があった。
 - 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準:20XX」改定本報告 (F4SC64-6-1)
 - 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準:20XX」改定提案 新旧比較表 (F4SC64-6-2)
 - 「使用済燃料中間貯蔵施設用金属キャスクの安全設計及び検査基準:20XX」改定提案 完本版 (F4SC64-6-3)
- ・ 審議の結果、以下とすることで、部会へ報告することが了承された。
 - 新旧比較表及び完本版については、今回のコメントを反映し、作業会 1 と 4 担当分を合本する。
 - 本報告の資料については、主査より別途提供されるサンプルを参考に修正することとし、修正案は分科会 3 役の確認(3 役一任)の上、部会へ報告する。

(7) 2024 年度版標準策定5か年計画の作成について

- ・ 幹事より、F4SC63-7 シリーズに基づき、2024 年度版標準策定5か年計画の作成について説明があり、誤記の修正を行うことで、F4SC63-7-2 の資料を部会へ提出することが了承された。

(8) その他

①今後の予定について

- 幹事会 : 2024年 1 月 16 日(火) 午後
- 分科会 : 2024年 1 月 23 日(火) 午後

以 上